



新社会党東京都本部委員長

## 江原ひであきアピール 2004.6

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話(03)3381-7656 FAX (03)3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール [hide-eba@cameo.plala.or.jp](mailto:hide-eba@cameo.plala.or.jp)

### 参院選は護憲派候補に！

#### みんなの力で新しい政治(日本)を！

いよいよ6月24日から参議院議員の選挙が始まります。今回の選挙はますます軍事大国化へひた走る小泉、自・公政権の暴走に歯止めをかけられるかが問われます。このままでは、間違いなく憲法が改悪され、自衛隊が海外に派兵され殺したり殺されたり、戦争をする国になってしまいます。そうさせないために、平和憲法を大切に世界に広めようとする候補者を応援して一人でも多くの護憲派議員を当選させましょう。

#### 東京選挙区の護憲派統一候補擁立は断念！

私や新社会党は、昨年の衆院選後、5月10日のアピールで詳細に述べているように「日本は今、重大な岐路に直面している」との認識から、多くの識者や市議会議員等の皆さん達と共に東京で1議席は何としても獲ろうと訴えてきました。

そのためには、無所属の強力な候補者を擁立して、そこに一本化するしかないことを確認して努力してきました。数人の方が浮上しました。5月になって前レバノン大使の天木直人氏が真剣に立候補を検討して下さいましたが、残念ながら社民、共産などが予定候補者を決めて先行している情勢の中では立候補を決断するには至りませんでした。

何故、天木直人氏だったのか！

ご承知のことと思いますが、天木さんはレバノン大使時代に「ブッシュのイラク侵略戦争は起こしてはならない」、「日本(小泉首相)はブッシュの戦争を止めさせるべきで、支持するなどは絶対に間違っている」と本国に打電して「首」になった人です。

政治に対する基本的な主張は、21世紀の日本が選択すべきは 日米安保条約は解消、平和憲法を生かし世界に発信する、朝鮮やアジアの諸問題は戦後処理から、小泉改革(国民生活犠牲、大企業擁護)反対！ 官僚支配政治反対！等々です。

そして、そのことを実現させるために天木さんは「自民、民主の保守二大政党に対峙する新しい政治勢力の結集が不可欠だ、そのために私が役に立てるなら捨て石になる」、と。

## 参院選直前、まさに戦後最大の危機！

### 、戦争をする国へ暴走！

16日に終わった通常国会で、有事7法案や特定船舶入港禁止法が自・公・民によって可決されてしまいました。また、小泉内閣は6月末にイラクの暫定政権に主権が委譲された後の多国籍軍に自衛隊を参加させる、と明言しました。多くの識者が憲法違反だと言い、国民の多数が反対しているにもかかわらず、です。まさに戦争をする国への暴走です。この先には教育基本法と憲法改悪が待っています。

### 、国民生活が急速に崩壊！

労働者の雇用条件が一方的に引き下げられ、正規の社員や職員が減らされ無権利低賃金労働者が急増しています。

中小商工業者に対して貸し剥がし、貸し渋り、単価の切り下げ等が強要され、企業倒産と失業者が増大しています。

お年よりや障害者には社会保障制度が改悪され、大幅な負担増と給付減、さらには福祉政策の縮小、廃止が強行されています。

### 、荒廃する日本社会！

小泉首相の短絡的で粗雑、粗暴な言動が顕著になる中、社会全体の思考力が低下し軽薄になっています。一方で弱肉強食の論理が蔓延し貧富の差の拡大とともに暴力的風潮が増大しています。結果として人権が軽視され長崎事件のように残忍な人殺しや凶悪犯罪が激増しています。

### 、監視社会、強権国家へ突き進む！

犯罪の急増に、その根源にメスを入れず力で秩序を維持しようと、街のいたる所に監視カメラが設置され、警察官が増強されています。子ども達には「ひと」を信ずるなど教え、大人達には住民どうしの監視が求められています。職場から地域まで監視の眼が光り、うっかり自分の意見も言えないような息苦しい社会になってきています。

## みんなの力で新しい政治(日本)を創りましょう！

平和憲法を大切に、世界に広げる政治。

日米安保条約は解消めざし、アジアを重視する政治。

自衛隊をイラクから即時撤退させ、海外派兵はさせない政治。

憲法は、前文の精神も主権在民も基本的人権も、九条も変えない政治。

ひとの暮らしと命を大切に、差別や貧困をなくし人間の尊厳を大事にする政治。  
大企業に増税し、中小商工業者や低所得者には減税する政治。  
障害者やお年よりが安心して暮らせる年金や社会保障制度を確立、実行する政治。  
地域でも職場でも自由にものが言え、子どもは「ひと」が信じられる政治。

こんな政治の実現をめざし、参議院議員選挙では比例区でも選挙区でも護憲派の議員を一人でも多く誕生させましょう。

( 2004 年 6 月 16 日 江原ひであき)